

令和8年度第2回 岡山支部評議会 資料②

－中期戦略・支部戦略プランおよび 令和9年度支部事業計画について－



2026年10月16日
全国健康保険協会岡山支部

中期戦略プランについて

保険者機能強化アクションプランから中期戦略プランへ

- 保険者機能強化アクションプラン（第1期～第6期）を通じて、財政基盤の当面の安定化が実現し、保険者機能の強化・発揮の実践による知見が蓄積される中、新たに健康保険法改正においてきめ細かい予防・健康づくりが責務として明確化されたことを踏まえ、これまでの取組をさらに深化・発展させ、「健康日本21（第三次）」が目指す健康寿命の延伸に向けた取組を進める必要がある。
- 今後、協会が2040（令和22）年を見通し、より実効性の高い取組を展開できるよう、保険者機能強化アクションプランは、2040（令和22）年を見通して重点的に実施する取組を戦略的に進めていく計画であることを明確にするため中期戦略プランへと発展させる。
- 中期戦略プランは、3年（2027（令和9）年度～2029（令和11）年度）を計画期間とし、中期戦略プランの改定を通じて、その時点の社会経済情勢にふさわしい取組を実施する。

2008(平成20)年度～2017(平成29)年度

保険者機能強化 アクションプラン (第1期～第3期)

- ✓ 新たな保険者を「創建」
- ✓ 組織・財政基盤の整備による活動基盤強化

2018(平成30)年度～2026(令和8)年度

保険者機能強化 アクションプラン (第4期～第6期)

- ✓ 創成期から成長期へ
- ✓ 保険者機能の強化・発揮

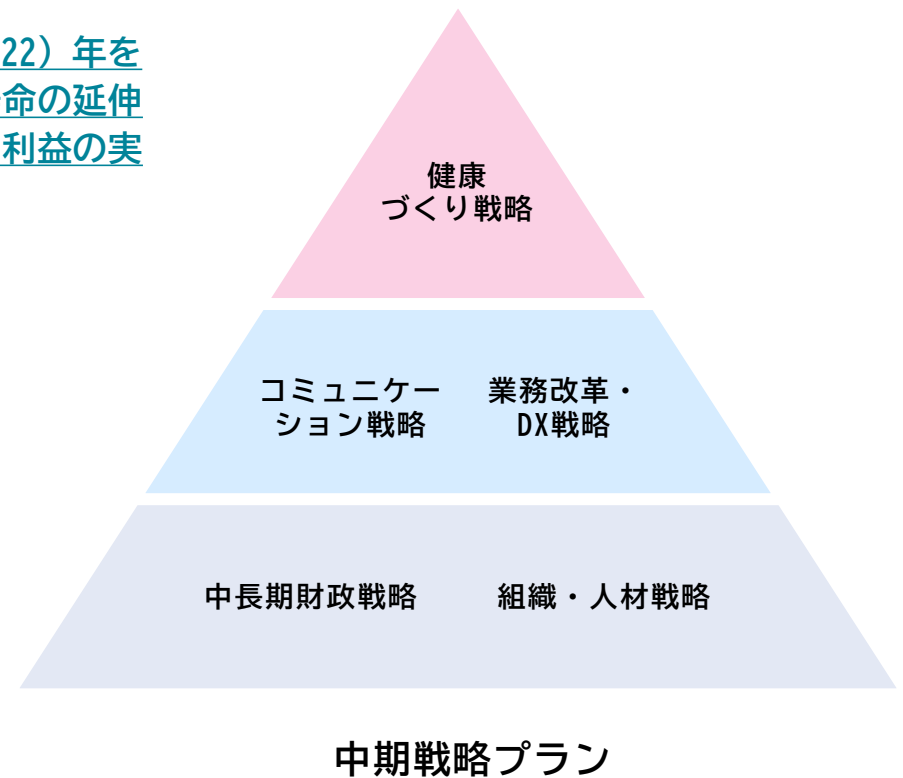
2027(令和9)年度～2029(令和11)年度

保険者機能強化 アクションプランから 中期戦略プランへ

- ✓ 健康日本21（第三次）が目指す健康寿命の延伸の実現
- ✓ 社会環境の変化への柔軟な対応

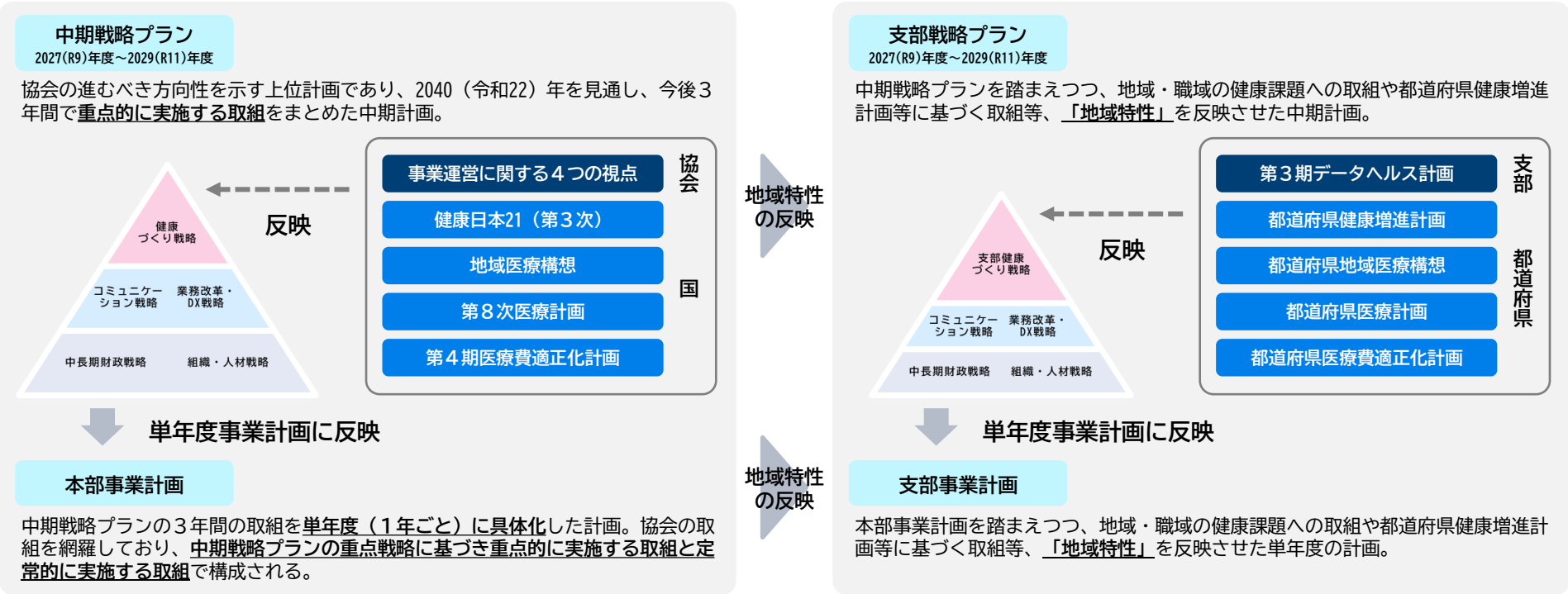
中期戦略プランの基本方針

- 中期戦略プランの策定にあたり、協会の全職員において今後の協会のあり方を議論し、事業運営に関する以下の4つの視点を整理。
 - ① ネットワークと標準化
 - ② サービスを個別化
 - ③ 仕事は考えるもの
 - ④ リレーションの資産化
- 協会は、これらの視点を事業運営に取り入れ、2040（令和22）年を見通した上で安定かつ持続可能な財政運営を維持し、健康寿命の延伸に取り組むことにより、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図る。
- 中期戦略プランは、健康寿命の延伸に取り組むことを明確にするため、健康づくり戦略を基軸とする計画とする。加えて、健康づくり戦略を実現するためには、様々な分野、様々な関係者との連携・協働が不可欠であること、また、不断の業務改革やデジタル技術の活用が重要であること等を踏まえ、健康づくり戦略を支えるコミュニケーション戦略、業務改革・DX戦略を定めるとともに、これらの戦略の基盤となる中長期財政戦略、組織・人材戦略を定める。



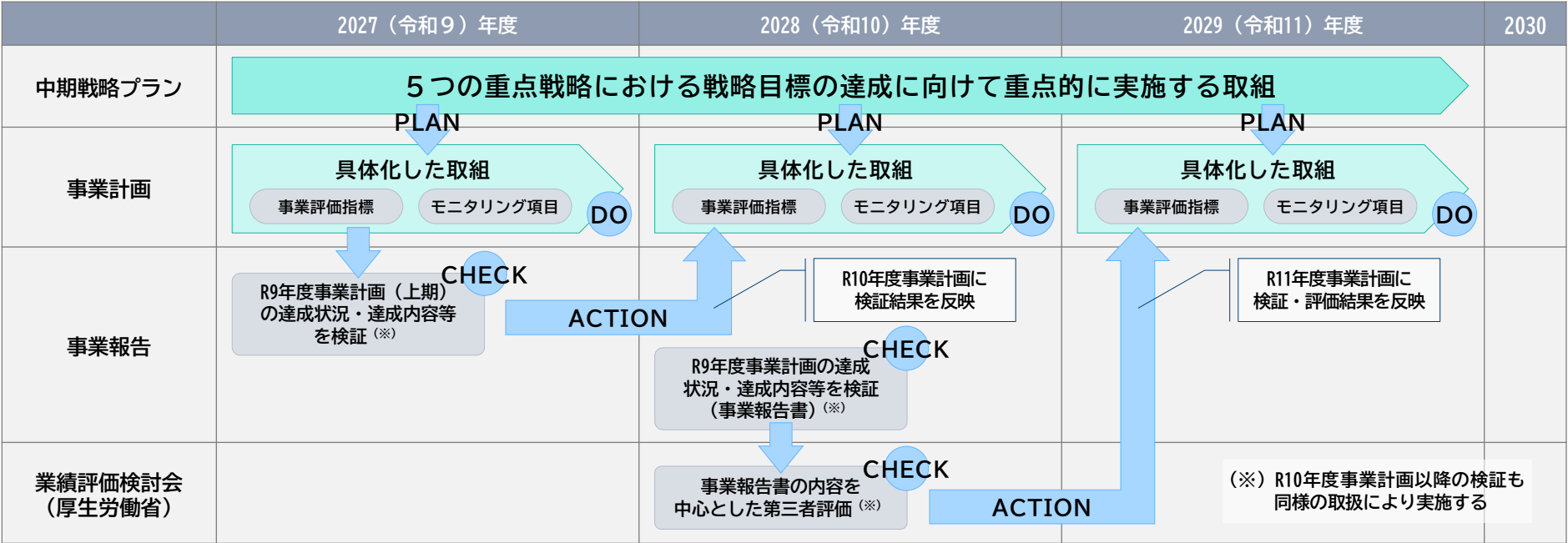
中期戦略プラン・支部戦略プラン・事業計画の関係

- 中期戦略プランでは、5つの重点戦略に基づき、協会が重点的に実施する取組について、2040（令和22）年を見通した「戦略目標」、「3年間の戦略の概要」及び「3年間の主な取組」を定める。また、重点戦略は、毎年度の事業計画において具体的な取組の検討、実施につなげる。その際には、SDGs（持続可能な開発目標）や国際化等、幅広い視点を持って取り組む。
（※）事業計画は、中期戦略プランの重点戦略で章立てを行い、「中期戦略プランの重点戦略に基づき重点的に実施する取組」及び「定常的に実施する取組（毎年度着実な実施が求められる取組）」を定める。
- 中期戦略プランに掲げる取組が、地域の実情等を踏まえた実効性のあるものとして全国に展開できるように、支部は支部における健康づくり戦略を基軸とする支部戦略プランを策定する。



事業計画のフォローアップを通じた中期戦略プランの実効性の確保

- 事業計画において中期戦略プランの重点戦略を具体化した取組には、「「戦略目標」の達成に向けた取組の拡大・推進（①）」と「社会環境の変化に柔軟に対応した取組の推敲・継続（②）」が求められる。
- このため、事業計画には「当年度の取組の達成状況や達成内容、成果を適正に評価するための**事業評価指標**（①）」と、「計画期間中の進捗や課題を継続的に把握し、取組の見直しの判断を柔軟に行うための**モニタリング項目**（②）」を定める。
- また、具体化した取組は、毎年度の**事業報告において達成状況や達成内容、成果を検証し、運営委員会の議論を通じて「戦略目標」の達成に向けて柔軟に見直し**を図る。
- 協会は、上記を通じて様々な視点から取組の推進・推敲を図り、中期戦略プランの実効性を確保する。



中期戦略プラン（概要）

理念	【基本使命】 全国健康保険協会は、保険者として健康保険事業及び船員保険事業を行い、加入者の皆様の健康増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療が享受できるようにし、もって加入者及び事業主の皆様の利益の実現を図る 【基本コンセプト】 加入者及び事業主の皆様の意見に基づく自主自律の運営 加入者及び事業主の皆様の信頼が得られる公正で効率的な運営 加入者及び事業主の皆様への質の高いサービスの提供 被用者保険の受け皿としての健全な財政運営
基本方針	- 安定かつ持続可能な財政運営を維持し、健康寿命の延伸に取り組むことで、加入者・事業主の利益の実現を図る。 - 健康づくり戦略を基軸とし、健康づくり戦略を支えるコミュニケーション戦略及び業務改革・DX戦略を定め、これらの戦略の基盤となる中長期財政戦略及び組織・人材戦略を定める。 5つの重点戦略に基づき、協会が重点的に実施する取組について、2040（令和22）年を見通した「戦略目標」、「3年間の戦略の概要」及び「3年間の主な取組」を定める。また、毎年度の事業計画において具体的な取組の検討、実施につなげる。さらに、具体化した取組は、毎年度の事業報告において達成状況を検証するとともに、運営委員会の議論を通じて、「戦略目標」の達成に向けて柔軟に見直しを図る。
計画期間	2027（令和9）年度～2029（令和11）年度

重点戦略	戦略目標	3年間の主な取組
健康づくり戦略	健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、健康寿命の延伸を推進し、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図ります。	個人の特性に応じた支援 / 健康経営の推進 / 健診の拡充 / 特定保健指導の量・質の向上 / 重症化予防の拡充 / ヘルスリテラシーの向上 / 医療提供体制の確保・充実に向けた取組 / 医療費の適正化 / インセンティブ制度の見直し
コミュニケーション戦略	協会や協会の取組への理解や関心が高まるよう、加入者・事業主とのコミュニケーションを深めていくとともに、関係機関・団体と積極的に協働できる環境を整えます。	協会や協会の取組への理解や関心の向上 / 加入者との情報共有 / 事業主等との情報共有 / 関係機関・団体との連携強化 / 国際化の推進
業務改革・DX戦略	デジタル技術を最大限に活用する等、業務プロセスを抜本的に変革し、生産性を最大化することで、高い水準のサービスを安定的に提供する環境を整えるとともに、地域・職域の特性を踏まえた取組の推進に資するデータの利活用を進めます。	業務の標準化・効率化 / サービス水準の向上 / けんばアプリを通じたけんばDXの実現 / 最新のデジタル技術を利用したシステムの導入 / データ分析・利活用
中長期財政戦略	中長期的視点に基づき、引き続き、安定かつ持続可能な財政運営を実施します。将来のリスクへの備えの視点を持ちつつ、適正な保険料率設定を行うことにより、安定的な財政基盤を維持します。	適正な保険料率の設定 / 準備金等のあり方
組織・人材戦略	中期戦略プランに示す重点戦略の実現に向けて、全職員が活躍できる環境を整えるとともに、重点戦略の実現に必要な体制を確保するため、「個の能力の最大化」と「組織の活力向上」を両輪で推進します。併せて、コンプライアンスの徹底とリスク管理の高度化を推進し、事業の透明性や継続性を確保します。	本部・支部間のビジョン共有 / 人材確保・人材育成 / 多様な人材が活躍できる組織づくり / コンプライアンスの徹底・リスク管理の高度化

中期戦略プランの主な取組

(1) 健康づくり戦略

《健康の保持・増進》

【個人の特性に応じた支援】

- ・デジタル技術や協会が保有する医療・健診・給付等のデータを活用した加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じた適時適切な支援
- ・けんぽアプリ等を活用した健診案内や予約、受診後のフォローアップ
- ・保健指導等を効果的かつ効率的に実施するためのAIの活用等を含めた検討・導入

【健康経営の推進】

- ・健康経営の実践に向けてキーパーソンとなる事業主等への働きかけ及び事業所全体の健康意識の醸成を目指した各種取組の実施

【健診の拡充】

- ・被保険者に対する若年者への健診、人間ドック健診及び被扶養者に対する健診拡充（2027年度開始）等における利用状況の把握及び利用定着に向けた取組の実施、健診の質の向上・精度管理

【特定保健指導の量・質の向上】

- ・健診当日の保健指導利用機会の拡大、保健師及び管理栄養士の育成・人材確保

【重症化予防の拡充】

- ・胃がん、大腸がん、乳がん及び子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨（2027年度開始）

【ヘルスリテラシーの向上】

- ・メンタルヘルス対策や女性の健康問題に対するポピュレーションアプローチ、喫煙対策、睡眠対策、健康教育、歯科健診の推進等による地域・職域の特性を踏まえた対応
- ・けんぽアプリの活用等による加入者自身の予防・健康づくりに向けたインセンティブの導入の検討

《良質かつ効率的な医療の推進》

【医療提供体制の確保・充実に向けた取組】

- ・都道府県における地域医療構想や医師確保計画等の策定や取組の推進への積極的な参画及び意見発信

【医療費の適正化】

- ・バイオ後続品（バイオシミラー）におけるデータ分析に基づく医療機関への働きかけを通じた使用促進
- ・地域フォーミュラの導入・運用に向けた地域の医療関係者との連携
- ・OTC類似薬の自己負担の見直しを踏まえたセルフメディケーションの推進

【インセンティブ制度の見直し】

- ・加入者・事業主が中長期的に健康づくりに取り組む環境の構築に資するとの観点からの見直し

(2) コミュニケーション戦略

【協会や協会の取組への理解や関心の向上】

- ・重点的に実施する広報の方針や取組等を定めた広報計画の策定による戦略的・計画的な広報
- ・健康保険制度開始100年及び協会設立20年という節目を捉えた広報の展開、愛称である「協会けんぽ」やコミュニケーションロゴ、タグラインの活用

【加入者との情報共有】

- ・けんぽアプリの利用促進及び加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じた個別最適な双方向の情報共有
- ・WEBアンケートによる加入者の意向やニーズの把握、申込手続の利便性向上

【事業主等との情報共有】

- ・事業所カルテ閲覧等の機能を備えた事業所ポータル構築、健診機関等における健診・保健指導の情報管理や結果登録等の機能を備えたパートナーズサイトの構築

【関係機関・団体との連携強化】

- ・自治体や保険者、保険者協議会、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、産業保健関係機関、社会保険労務士会、医師会、歯科医師会、薬剤師会等との連携

【国際化の推進】

- ・他国の医療保険者や政府関係者との健康保険制度や国民皆保険、予防医療に関するノウハウの共有、他国の先進的事例の知見の獲得

中期戦略プランの主な取組

(3) 業務改革・DX戦略

【業務の標準化・効率化】

- ・デジタル技術を活用した業務の標準化・効率化、業務運営の最適化の検討等による利便性の向上や生産性の最大化

【サービス水準の向上】

- ・電子申請の周知による届出事務の負担軽減と効率化
- ・マイナポータルによる医療費情報の閲覧や高額療養費の公金受取口座への自動支払等、マイナンバーを活用したサービスの推進
- ・相談業務におけるAI技術の導入やAIチャットボットの拡充、けんぽアプリを通じた手続き状況の可視化、業務処理の迅速化と正確性の向上

【けんぽアプリを通じたけんぽDXの実現】

- ・協会のあらゆるサービスがけんぽアプリの中で完結することを目指した機能拡充等

【最新のデジタル技術を活用したシステムの導入】

- ・業務プロセスの変革やサイバーセキュリティ対策の強化、働き方改革を推進するための最新のデジタル技術を活用したシステムの導入

【データ分析・利活用】

- ・情報系システムによるデータ利用環境の整備及び社会や制度・政策の変化に伴って新たに必要とされるデータ分析・研究の推進
- ・ブロック別のデータ分析体制の強化及び本部からの技術的な支援や支部担当者間の知見共有等の支援体制の構築

(4) 中長期財政戦略

【適正な保険料率の設定】

- ・中長期に安定的な財政運営を維持していくための観点を踏まえた運営委員会及び支部評議会における議論
- ・令和8年健康保険法改正を踏まえた、賃金や医療費の動向、高齢化、診療報酬改定等の進展等を勘案した複数の収支見通しの作成

【準備金等のあり方】

- ・中長期に安定的な財政運営が可能となる準備金の適正な水準及びその水準に基づく保険料率の設定のあり方に関する運営委員会及び支部評議会における議論・検討
- ・必要な国庫補助を確保し、中長期的に安定的な財政運営が可能となるための国や関係者への説明・要請等の対応
- ・中長期的な資金運用のあり方の検討

(5) 組織・人材戦略

【本部・支部間のビジョン共有】

- ・支部の地域・職域の課題に即して自律的かつ機動的な施策の遂行に向けた本部・支部間における知見を共有・活用できる体制の構築・推進

【人材確保・人材育成】

- ・中期戦略プランに示す重点戦略の実現に向けた適材適所の人員配置や新たな業務に積極的に挑戦する人材の育成

【多様な人材が活躍できる組織づくり】

- ・若手職員や女性職員の管理職等への登用の推進、豊かな経験を有する高年齢者の活用、病気の治療や育児・介護等と仕事の両立支援及び柔軟な働き方の拡充等を通じた多様な人材が活躍できる組織づくり

【コンプライアンスの徹底・リスク管理の高度化】

- ・職員のコンプライアンス意識の更なる定着に向けた研修・啓発活動や、組織運営上のリスクを把握し、重要度に応じた対応を行う体制・仕組みの高度化の推進
- ・情報通信技術の高度化やサイバー攻撃の多様化・巧妙化等の環境変化に応じた継続的な技術的・人的対策の強化や、大規模災害等の不測の事態に備えた事業継続計画（BCP）の見直しと実効性の向上等による危機管理体制の整備

支部戦略プランおよび、それに基づいた 令和9年度支部事業計画について

	課題
1	平均寿命と健康寿命の差が大きい
2	代謝リスク保有者の割合が高い
3	HDLコレステロールリスク保有者の割合が高い
4	運動習慣改善要素保有者の割合が高い
5	特定保健指導対象者減少率・特定保健指導実施者改善率が低い

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

中期戦略プランを踏まえた当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

岡山支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

岡山県における健康課題として「健康寿命と平均寿命の差が大きい」ことがあげられる。その要因であると考えられる「代謝リスク・HDLコレステロールリスク保有者が多い」ことを踏まえ、対策として有効と考える「運動習慣の改善」を通じた加入者の健康度向上を目指す。

II) 戦略概要

事業所とのコラボヘルスを通じた健康づくりの取組強化、行政や関係団体と連携した広報・各種施策の実施等によりヘルスリテラシーの向上を図り、健診・特定保健指導の実施率向上に繋げることで、①健診の受診（自身の健康状態の定期的な把握）、②健診後の行動（特定保健指導による生活習慣病リスクの軽減や医療機関への早期受診による医療費適正化、QOL向上）、③日々の健康づくり（生活習慣改善や自主的な健康づくり取り組み）の「健康づくりサイクル」の定着化を進めるとともに、運動習慣改善要素保有者の減少に向けた取り組みを推進する。

Ⅲ）３年間の主な取組

《健康の保持・増進》

〔個人の特性に応じた支援〕

- 男女・地域を問わず全県的に代謝リスクが高いことを踏まえ、被保険者に対しては事業所を通じたアプローチ、被扶養者に対しては集団健診実施時の口コモ健診実施等によるヘルスリテラシーの向上(とりわけ運動習慣改善)を推進する
- 代謝リスクと運動習慣改善については岡山県全体の課題とも共通していることから、行政や健診機関等の関係機関と連携した取り組みを推進する

【新規・継続事業】運動機能の測定等のセルフチェックと体験型アプローチを通じて、健康課題の気づきと行動変容の促進

〔健康経営の推進〕

- 健活企業に対する運動・食事セミナーの推進やジム利用促進等の運動習慣定着に資するフォローアップ事業を強化し、事業所による自主的な健康づくりの取り組みを推進する
【継続事業】受講テーマを充実させるとともに集合形式・オンライン形式など受講方法の選択肢を増やして、より受講しやすい研修を実施
- 商工会議所等の関係団体と連携した健康経営の普及推進及び健活企業数の拡大
【継続事業】商工会議所の経営指導員と同行する事業所訪問を実施
- WEB広告等を活用した健康経営及び健活企業宣言の啓発
【継続事業】地域や年齢、職層などターゲット層を絞るとともにより興味を持たせるSNS広告の発信
- 健活未宣言事業所に対して、事業所規模や健康保険委員在籍の有無等のセグメントによるターゲットに応じた健活企業宣言勧奨の実施
【継続事業】ターゲット別に訪問や文書、電話による勧奨を定例業務として実施

〔健診の拡充〕

- ・ 健診受診率の低い小規模事業所を対象とした事業主及び被保険者に対する受診勧奨の実施
- ・ 岡山産業保健総合支援センターや労働局と連携した事業所への周知による健診受診及び受診後の行動についての啓発強化
- ・ 被扶養者対象健診の拡大に伴う健診受診率と特定保健指導実施率の向上を目指して、被扶養者のニーズを把握し、各種健診の特徴に応じた周知広報を実施

【新規事業】被扶養者の健診拡大をふまえた周知広報による受診勧奨と健診機関への働きかけ強化

〔特定保健指導の量・質の向上〕

- ・ 特定保健指導健診当日初回面談実施の拡大に向け、健診機関が相互に情報・意見交換できる機会を設定
- ・ 事業所訪問等により事業所の健康課題とニーズを踏まえた働きかけを強化し、健康経営の推進及びヘルスリテラシーの向上に繋げることで、特定保健指導の量・質の向上を図る
- ・ 保健指導者のスキルアップを図り、アウトカム(成果)の向上に繋げる

【継続事業】データ分析に基づき、アウトカム向上にむけた課題整理と対策による特定保健指導の質の向上を推進

〔重症化予防の拡充〕

- 健診の結果、血糖・脂質・血圧の項目で受診が必要と判定された方に対し、受診を促す通知を業務委託にて健診機関(健診受診時および受診後3か月以内)から実施するとともに未受診者には協会(本部・支部)から通知を実施
- 空腹時血糖もしくはHbA1cの値が受診勧奨域手前の方に対して生活習慣改善や早期受診を促す通知を実施

【新規事業】 各種通知・健診機関による0次勧奨の効果検証と実施内容検討

[ヘルスリテラシーの向上]

- ホームページやSNS、広報誌等の様々な媒体を活用して、健康や運動に関する正しい情報を分かりやすく発信する
- ポータルサイト等を活用して健康保険委員への情報提供を強化し、健康保険委員を通じた加入者のヘルスリテラシーの向上を図る
【新規事業】 今後導入が予定されている「事業所ポータル」、「パートナーズサイト」を円滑に運営できるよう、健康保険委員情報をコミュニケーションサイトへ確実に登録
- 岡山産業保健総合支援センターと連携したメンタルヘルスセミナー等の実施
【継続事業】 メンタルヘルスセミナーについて、応用編を岡山支部、基礎編を産保センターが実施するなど、健活企業のニーズに応じたセミナーを企画
- 岡山県・県内市町村と連携した運動習慣改善に向けたポピュレーションアプローチの強化
- 運動・食事習慣等改善要素保有者に着目したセミナー等の実施
【新規事業】 運動・食事セミナーのテーマを充実させ、集合形式・オンライン形式など受講しやすい研修を実施するとともに、健活企業を対象とした健康管理機器を貸与
- おかやま地域未来共創プラットフォームと連携した学生への健康教育の実施
【新規事業】 おかやま地域未来共創プラットフォームに参画し、学生との交流イベントで健康経営に関する情報を発信

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

- 地域医療構想調整会議や医療審議会等において協会が保有する医療費・健診データの分析結果等を活用した積極的な意見発信
- 保険者協議会において、他の保険者と連携した良質かつ効率的な地域医療提供体制構築に資する意見発信

[医療費の適正化]

- データ分析結果に基づく医療機関や関係機関に対するバイオシミラー(バイオ後続品)を中心とした後発医薬品使用促進に向けた働きかけの実施
- 地域フォーミュラリの導入拡大に向け、地域の医療関係者や関係機関との連携を強化
- OTC類似薬の自己負担の見直しを踏まえたセルフメディケーションの推進

【新規事業】岡山市地域フォーミュラリの導入に向け、医療機関、岡山県及び薬剤師会と連携を図るとともに、各種協議体へ参画し、積極的な意見発信や情報提供等を実施